

新型コロナウイルス感染症対策本部（第16回）

日時：令和2年3月1日（日）

17時00分～17時15分

場所：官邸4階大会議室

議 事 次 第

1. 開 会

2. 議 事

（1）新型コロナウイルス感染症への対応について

3. 閉 会

（配布資料）

資料1 厚生労働省提出資料

新型コロナウイルスに関連した 感染症の現状と対策

令和2年3月1日(日)

厚生労働省

新型コロナウイルスに関連した感染症の発生状況等について

※令和2年2月29日 10時時点

	中国	香港	マカオ	日本 ※1	韓国	台湾	シンガポール	ネパール	タイ	ベトナム	マレーシア	オーストラリア	米国	カナダ	フランス
患者数	79251	94	10	239	2931	34	98	1	41	16	24	23	62	14	57
死亡者数	2835	2	0	5	16	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2

	ドイツ	カンボジア	スリランカ	UAE	フィンランド	フィリピン	インド	イタリア	英国	ロシア	スウェーデン	スペイン	ベルギー	エジプト	イラン	イスラエル
患者数	53	1	1	19	2	3	3	888	20	5	11	33	1	1	388	7
死亡者数	0	0	0	0	0	1	0	21	0	0	0	0	0	0	34	0

	レバノン	クウェート	バーレーン	オマーン	アフガニスタン	イラク	アルジェリア	オーストリア	スイス	クロアチア	ブラジル	ジョージア	パキスタン	北マケドニア	ギリシャ	ノルウェー
患者数	3	45	38	6	1	7	1	4	8	5	1	2	2	1	4	6
死亡者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	ルーマニア	デンマーク	エストニア	オランダ	サンマリノ	リトアニア	ナイジェリア	アイスランド	アゼルバイジャン	ベラルーシ	ニュージーランド	メキシコ	南アフリカ	その他 ※2	合計
患者数	3	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	706	85187
死亡者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	2923

※1 うち19例は無症状病原体保有者（症状はないが、検査が陽性となった者）

※2 国際輸送案件として、日本において、クルーズ船の乗員乗客のうち、新型コロナウイルスが陽性と確認された件

新型コロナウイルス感染症の発生状況

【国内事例】※ 括弧内は前日からの変化

※令和2年2月29日18時時点

	PCR検査実施人数	PCR検査陽性者	うち無症状者		うち有症状者								症状有無確認中	
			うち退院した者	うち入院中の者(予定を含む)	うち退院した者	うち入院治療を要する者	うち軽～中等症の者	うち人工呼吸器又は集中治療室に入院している者※2	うち確認中	うち入院待機中の者	うち死亡者			
国内事例 (チャーター便 帰国者を除く)	1,688人 (+178)	224※1 (+9)	18	4	14	206 (+9)	27	174 (+12)	90 (+8)	23 (+1)	58	5 (+2)	5	0
チャーター便 帰国者事例 (水際対策で確認)	829人	15	4	4	0	11	7	4	4	0	0	0	0	0
合計	2,517人 (+178)	239 (+9)	22	8	14	217 (+9)	34	178 (+12)	94 (+8)	23 (+1)	58	5 (+2)	5	0

※1 うち日本国籍の者180人

※2 今までに重症から軽～中等症へ改善した者は1名

【上陸前事例】

※令和2年2月29日18時時点

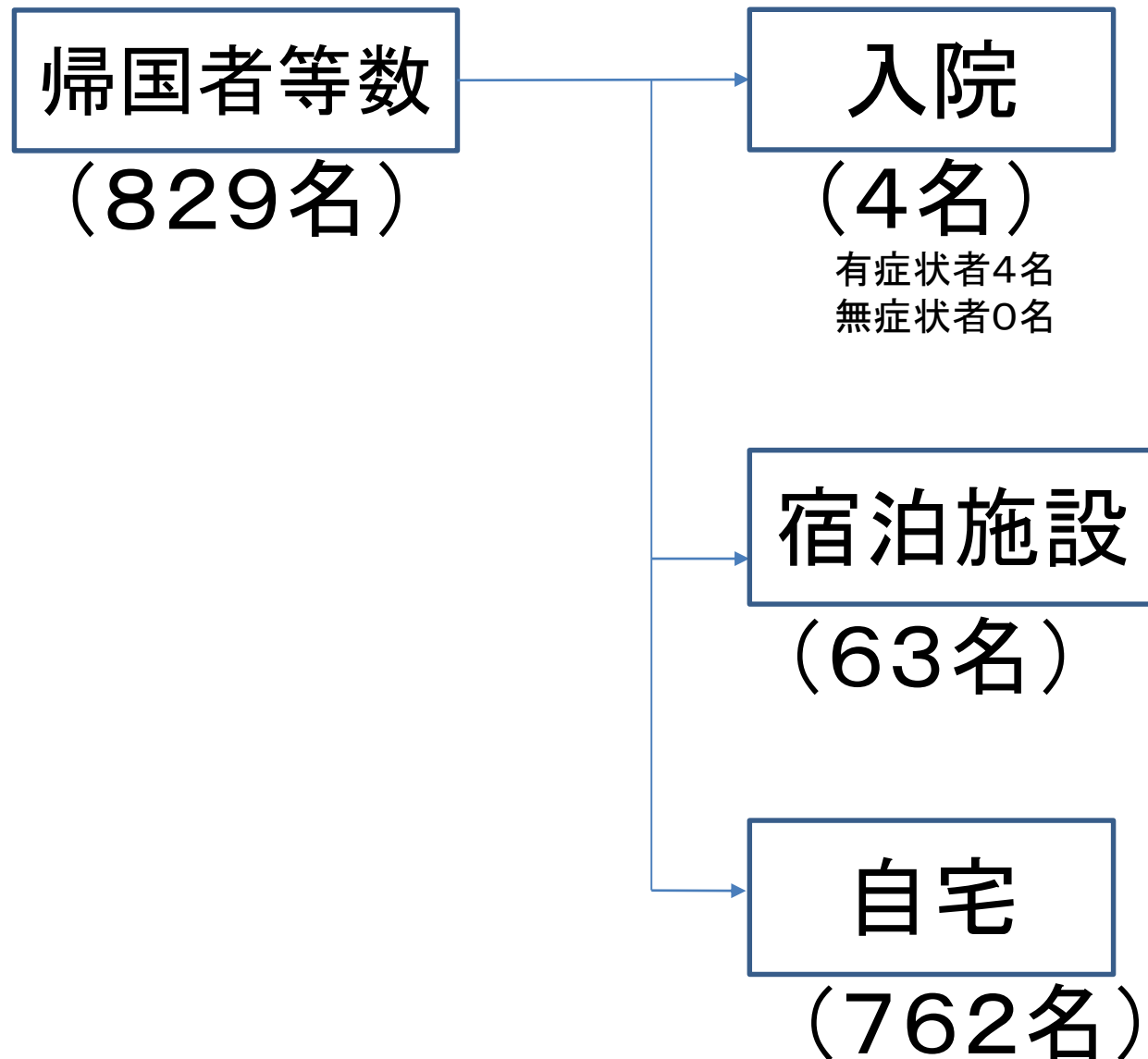
	PCR検査陽性者				
	無症状者	退院している者	人工呼吸器又は集中治療室に入院している者 ※4	死亡者	
クルーズ船事例 (水際対策で確認) (3,711人) ※3	706 (+1)	392	89	34 (-3)	6

※3 那覇港出港時点の人数。うち日本国籍の者1,341人

※4 8名が重症から軽～中等症へ改善。

※5 この他に藤田岡崎医療センターから退所した11名(無症状・陽性)がいる。2

武漢等からの帰国者等の現在の滞在場所(2月29日18:00現在)

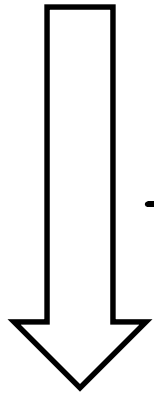


14日間の宿泊施設滞在を経て自宅に帰宅した者は747名
残る12名については2/15付けでフォローアップ期間終了

クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス号」の乗客・乗員の現在の状況

3月1日(日)14:00時点

乗員 1,045名
乗客 2,666名
合計 3,711名
※2月3日



乗員 0名
乗客 0名
合計 0名
※3月1日
(18時見込み)

入院 (PCR+ 706名)
乗員 150名
乗客 556名

急病や付き添い等で
下船 (64名)

外国のチャーター
機にて帰国 (米国(328名)、韓国、豪州、
カナダ、イスラエル、香港、台
湾、EU(イタリア)、英国、ロシ
ア、フィリピン、インド、インドネ
シアは出発)

下船 (983名)
2/19:443名 2/22:13名
2/20:274名 2/23:1名
2/21:252名

濃厚接触者 (330名)
(宿泊施設に移動)
乗員238名
乗客 92名

新型コロナウイルスに係る厚生労働省電話相談窓口(コールセンター)の対応状況等について

	相談を受けた件数			回線数
	コールセンター	FAX(*1)	メール(*2)	
1月28日(火)	99件	-	-	3
1月29日(水)	250件	-	-	3
1月30日(木)	306件	-	-	3
1月31日(金)	512件	-	-	3(9時-)→4(15時-)→12(18時-)
2月1日(土)	840件	-	-	12
2月2日(日)	716件	-	-	12(9時-)→22(12時-)
2月3日(月)	1,129件	-	-	22(9時-)→72(14時-)
2月4日(火)	982件	-	-	72
2月5日(水)	929件	-	-	72
2月6日(木)	829件	-	-	72
2月7日(金)	1,331件	-	-	85(*3)
2月8日(土)	673件	-	-	85
2月9日(日)	625件	-	-	85
2月10日(月)	958件	-	-	100
2月11日(火)	624件	-	-	100
2月12日(水)	1,185件	-	-	155
2月13日(木)	893件	-	-	155
2月14日(金)	2,142件	0件	-	155
2月15日(土)	2,732件	0件	-	155
2月16日(日)	3,415件	0件	-	155
2月17日(月)	6,368件	1件	-	180
2月18日(火)	4,427件	3件	-	180
2月19日(水)	3,596件	4件	0件	180
2月20日(木)	3,303件	3件	1件	180
2月21日(金)	3,756件	4件	2件	180
2月22日(土)	3,466件	0件	3件	180
2月23日(日)	3,264件	0件	4件	180
2月24日(月)	4,651件	1件	2件	180
2月25日(火)	5,608件	1件	3件	180
2月26日(水)	5,153件	3件	6件	180
2月27日(木)	4,890件	3件	8件	180
2月28日(金)	4,349件	4件	14件	180
2月29日(土)	4,140件	2件	10件	180

＜これまでの主な相談内容(例)＞

- 現在の症状に対する不安
- 予防法、消毒、対処法等医療に関する一般的事項
- 政府の対策についてのご意見
- 渡航に関する相談
- 国内発症例の詳細な行動履歴について
- その他

(*1) 2/14正午設置。

(*2) 2/19正午設置(全日本ろうあ連盟ホームページで周知)。

(*3) フリーダイヤル化・外部委託に移行

新型コロナウイルス感染症に係る国内の体制整備について

2/29(土)
17時時点

	帰国者・接触者相談センター	帰国者・接触者外来	(参考) 一般電話相談窓口
設置目安	各保健所への設置を目安 ※保健所件数：472件（H31.4.1）	二次医療圏に1カ所以上 ※二次医療圏数：335（H30.4.1）	なし ※一般電話相談窓口は医療機関の紹介を行わないため、地域ごとに設置する必要がなく、各自治体が必要な回線数を設置できていればよい。
設置件数	47都道府県、537施設 で設置 ※2/12に全都道府県での設置を確認、前日比±0施設	47都道府県、843施設 で設置 ※2/13に全都道府県での設置を確認、前日比+27施設 ※2/21に全二次医療圏での設置を確認	47都道府県で設置済
対応件数	相談件数は全国で 61,389件 （2/3～2/28） ※前日比5,414件増加	帰国者・接触者外来の受診者数は全国で 2,006件 （2/1～2/28） ※前日比159件増加	東京都：8,712件（1/29～2/27） （2/26:428件、2/27:414件） 大阪府：5,174件（1/29～2/27） （2/26:263件、2/27:215件） 宮城県：2,272件（2/4～2/27） （2/26:213件、2/27:242件） 岡山県：1,067件（2/4～2/27） （2/26:126件、2/27:164件） ※報告対象ではないため、専用ダイヤルを設置したいくつかの都道府県へ聞き取り調査を実施。
その他	<ul style="list-style-type: none"> 保健所のほか、県庁や市役所の感染症対策担当課に設置している都道府県もある。 全都道府県が24時間土日でも対応可能である（各ホームページ上でも公表）。 2/27に相談件数の増加が著しい27都道府県に電話回線の状況を聴取したが、特段輻輳は生じていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 843施設のうち感染症指定医療機関は396施設。 	<ul style="list-style-type: none"> 専用回線を設置している都道府県は神奈川県を含め22都道府県。 都道府県とは別に一般電話相談窓口を設置している市区町村もある。

新型コロナウイルスに係る北海道の対応状況

【基礎データ】

○地方衛生研究所 PCR 検査状況

	1日あたり 可能件 数	検体数			陽性検体数		
		2月28日	2月29日	3月1日	2月28日	2月29日	3月1日
合計	62	51	51	40	12	4	2

(注) 1日あたり可能件数は2月13日調べ

(注) 検体数・陽性検体数は北海道庁から連絡のあった新規の検体数(暫定数)。

○ コロナウイルス感染症入院患者 ※全員国内発生

	コロナウイルス感染症入院患者(合計)		
		うち感染症病 床	うち一般病床 等
2月29日	62名	40名	22名
3月1日	65名	(確認中)	(確認中)

○ 感染症指定医療機関の感染症病床の病床状況

	感染症指定 医療機関数	感染症病床数	
			うち空き病床 数
2月29日	30施設	93床	53床
3月1日		93床	(確認中)

【北海道に対する支援の状況】

2/25 厚生労働省から調査支援チーム（クラスターチーム）を派遣（2/25 感染研3名（⇒道庁）、2/27 感染研等3名（⇒釧路保健所）

2/28 北海道「新型コロナウイルス緊急事態宣言」

2/29 北海道「新型コロナウイルス感染症への対応に関する緊急要望」

⇒非常事態宣言、要望等を踏まえ、新型コロナウイルス感染症対策に関する連携・調整チームを中心に北海道を全面的に支援

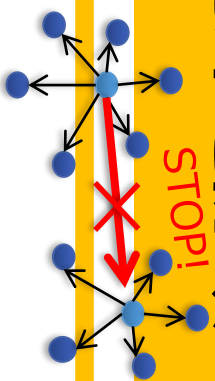
北海道緊急要望への対応状況（3/1 10時時点）

〔重点提案・要望事項（7事項）への対応〕

提案・要望事項	対応状況
1 重点対策地域としてあらゆる施策を緊急かつ集中的に実施	「連携・調整チーム」中心に重点対応を進める
2 （事態の進展に応じた）感染防止対策などの施策の切替えの具体的な基準の提示、積極的疫学調査等の縮小などに関するガイドラインの提示	本日、対策の移行タイミングなど具体的基準に関する事務連絡発 出
3 検査試薬の安定供給や人的支援など検査体制の強化に向けた支援	検査能力強化進め、更に PCR 検査保険適用実施
4 一般病床活用時の院内感染対策指針、自宅療養の対応方針等の提示	本日発出の事務連絡に関連の記載を盛り込み
5 現場の保健師を支える感染管理の専門家や保健師の派遣調整	先週から専門家を保健所等に派遣、更なる支援に向け関係学 会・道保健部局との聞き取り調整を開始
6 高齢者基礎疾患を有する者への必要な情報提供、支援体制の整備	相談・受診の目安等を公表、さらに本日発出の事務連絡で慢性 疾患等を有する患者への対応を記載
7 有給休暇など企業等への働きかけ、休業補償等に関する支援体制整備	昨日の総理提案踏まえ、新しい助成金制度の創設、雇用調整助 成金の特例等の実施に向け検討加速

※上記のほか、北海道庁への職員派遣、自衛隊による離島からの患者搬送への協力等を実施

新型コロナウイルスの集団感染を防ぐために



感染拡大を防ぐために

国内では、散発的に小規模に複数の患者が発生している例がみられます。この段階では、濃厚接触者を中心に感染経路を追跡調査することにより感染拡大を防ぎます。

今重要なのは、今後の国内での感染の拡大を最小限に抑えるため、

小規模な患者の集団（クラスター）が次の集団を生み出すことの防止です。

＜感染経路の特徴＞

※「小規模患者クラスター」とは
感染経路が追えている数人から数十人規模の患者の集団のことです。

◆ これまでに国内で感染が明らかになった方の方のうち8割の方は、他の人に感染させていません。

◆ 一方、スーツジム、屋形船、ビュツフエスタイルの会食、雀荘、スキーマのゲストハウス、密閉された仮設テントなどでは、一人の感染者が複数に感染させた事例が報告されています。

このように、集団感染の共通点は、特に、

「換気が悪く」、「人が密に集まって過ごすような空間」、「不特定多数の人が接触するおそれが高い場所」です。

国民の皆さまへのお願い

◆ **換気が悪く、人が密に集まって過ごすような空間に集団で集まることを避けてください。**

◆ イベントを開催する方々は、風通しの悪い空間や、人が至近距離で会話する環境は、感染リスクが高いことから、その規模の大小にかかわらず、その開催の必要性について検討するとともに、開催する場合には、**風通しの悪い空間をなるべく作らない**など、イベントの実施方法を工夫してください。

これらの知見は、今後の疫学情報や研究により変わる可能性があります。現時点で最善と考えられる注意事項をまとめたものです。

厚生労働省では、クラスターが発生した自治体と連携して、クラスター発生早期探知、専門家チームの派遣、データの収集分析と対応策の検討などを行うため、国内の感染症の専門家で構成される「クラスター対策班」を設置し、各地の支援に取り組んでいます。

ご家族に新型コロナウイルス感染が疑われる場合 家庭内でご注意いただきたいこと ～8つのポイント～

(一般社団法人日本環境感染学会とりまとめを一部改変) 令和2年2月29日版

部屋を分けましょう

- ◆ **個室にしましょう。** 食事や寝るときも別室としてください。
 - ・子どもがいる方、部屋数が少ない場合など、部屋を分けられない場合には、少なくとも2m以上の距離を保ったり、仕切りやカーテンなどを設置することをお薦めします。
 - ・寝るときは頭の位置を互い違いになるようにしましょう。
- ◆ **ご本人は極力部屋から出ないようにしましょう。**
トイレ、バスルームなど共有スペースの利用は最小限にしましょう。

感染者のお世話はできるだけ限られた方で。

- ◆ 心臓、肺、腎臓に持病のある方、糖尿病の方、免疫の低下した方、妊婦の方などが感染者のお世話をするのは避けてください。

マスクをつけましょう

- ◆ 使用したマスクは他の部屋に持ち出ささないでください。
- ◆ **マスクの表面には触れないようにしてください。** マスクを外す際には、ゴムやひもをつまんで外しましょう。
- ◆ **マスクを外した後は必ず石鹸で手を洗いましょう。**
(アルコール手指消毒剤でも可)

※マスクが汚れたときは、すぐに新しい清潔な乾燥マスクと交換。
※マスクがないときなどに咳やくしゃみをする際は、ティッシュ等で口と鼻を覆う。

こまめに手を洗いましょう

- ◆ **こまめに石鹸で手を洗いましょう、アルコール消毒をしましょう。** 洗っていない手で目や鼻、口などを触らないようにしてください。

換気をしましょう

- ◆ 定期的に換気してください。共有スペースや他の部屋も窓を開け放しにするなど換気しましょう。

手で触れる共有部分を消毒しましょう

- ◆ 共用部分（ドアの取っ手、ノブ、ベッド柵など）は、**薄めた市販の家庭用塩素系漂白剤で拭いた後、水拭き**しましょう。
 - ・物に付着したウイルスはしばらく生存します。
 - ・家庭用塩素系漂白剤は、主成分が次亜塩素酸ナトリウムであることを確認し、使用量の目安に従って薄めて使ってください（目安となる濃度は0.05%です（製品の濃度が6%の場合、水3Lに液を25mlです。））。
- ◆ **トイレや洗面所は、通常の家庭用洗剤ですすぎ、家庭用消毒剤でこまめに消毒**しましょう。
 - ・タオル、衣類、食器、箸・スプーンなどは、通常の洗濯や洗浄でかまいません。
 - ・感染者の使用したものを分けて洗う必要はありません。
- ◆ **洗浄前のものを共用しないようにしてください。**
 - ・特にタオルは、トイレ、洗面所、キッチンなどでは共用しないように注意しましょう。

汚れたリネン、衣服を洗濯しましょう

- ◆ 体液で汚れた衣服、リネンを取り扱う際は、**手袋とマスクをつけ、一般的な家庭用洗剤で洗濯し完全に乾かしてください。**
 - ・糞便からウイルスが検出されることがあります。

ゴミは密閉して捨てましょう

- ◆ **鼻をかんだティッシュはすぐにビニール袋に入れ、室外に出すときは密閉して捨ててください。**その後は直ちに石鹸で手を洗いましょう。

- 本人は外出を避けて下さい。
- ご家族、同居されている方も熱を測るなど、健康観察をし、不要不急の外出は避け、特に咳や発熱などの症状があるときには、職場などに行かないでください。